

地域農業の維持・発展に向けた地域計画の作成と実践



大河原農業改良普及センター
計画期間: 令和5~7年
対象者: 村田町菅生地区土地利用型農業次世代担い手
(菅生生産組合(5名)、2経営体(2名))
チーム員: ◎高橋、阪本、飯沼、伊藤、熊田、中込

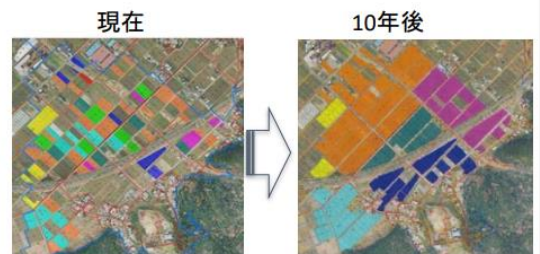
【地域計画とは】

1 地域計画

- 農業者や地域の皆様の話し合いにより策定される**地域の将来の農用地利用の姿を明確化した設計図**です。
- 10年後を見据え、担い手を含め、農地所有者、地域住民なども交えて、話し合うことが重要となります。

2 目標地図

- 地域の話し合いと農地の出し手・受け手の意向を踏まえて、10年後に目指すべき農用地利用の姿である「目標地図」を地域計画に添付します。



目標地図のイメージ

(東北農政局パンフレットより抜粋)

1. 課題の背景

□ 菅生地区の概要

● 位置等

- ・ 村田町の北東部に位置
(仙台市、名取市、柴田町、川崎町に隣接)

● 地域の農業

- ・ 1975年に30a区画を基準とした
基盤整備がなされ、水稻は生産
組合と認定農業者が部分作業を
含めて担っている。



(引用元：大河原地方行政連絡調整会議、令和5年度仙南地域の概要)

1. 課題の背景

● 農地の状況



(引用元：国土地理院撮影空中写真)

1. 課題の背景

1. 課題の背景

目的

活動内容

活動成果

今後

● 地域農業の抱える課題

- ① 小規模農家の減少
- ② 傾斜地が多く、耕作地が分散しており、生産効率が悪い
- ③ 担い手が請け負うことができる面積が限界を迎えている

2. 課題の目的

背景

2. 課題の目的

活動内容

活動成果

今後

- 昨年度までの活動
 - ・ 県事業を活用したワークショップ



地域計画策定に向けた意識づけ



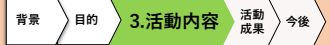
【ワークショップの様子】

■ プロジェクト課題化（R5年度より）

【課題の目的】

地域内の合意形成の下で地域計画が作成・実践される

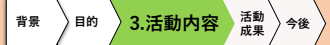
3. プロジェクト課題の活動内容



1. 地域内の合意形成支援

2. 担い手候補栽培技術・経営支援

3. プロジェクト課題の活動内容



1. 地域内の合意形成支援

- ・地域リーダー巡回等による意見聴取
- ・村田町との打合せ
（話し合いの設定、意向調査等）
- ・地域での話し合い支援



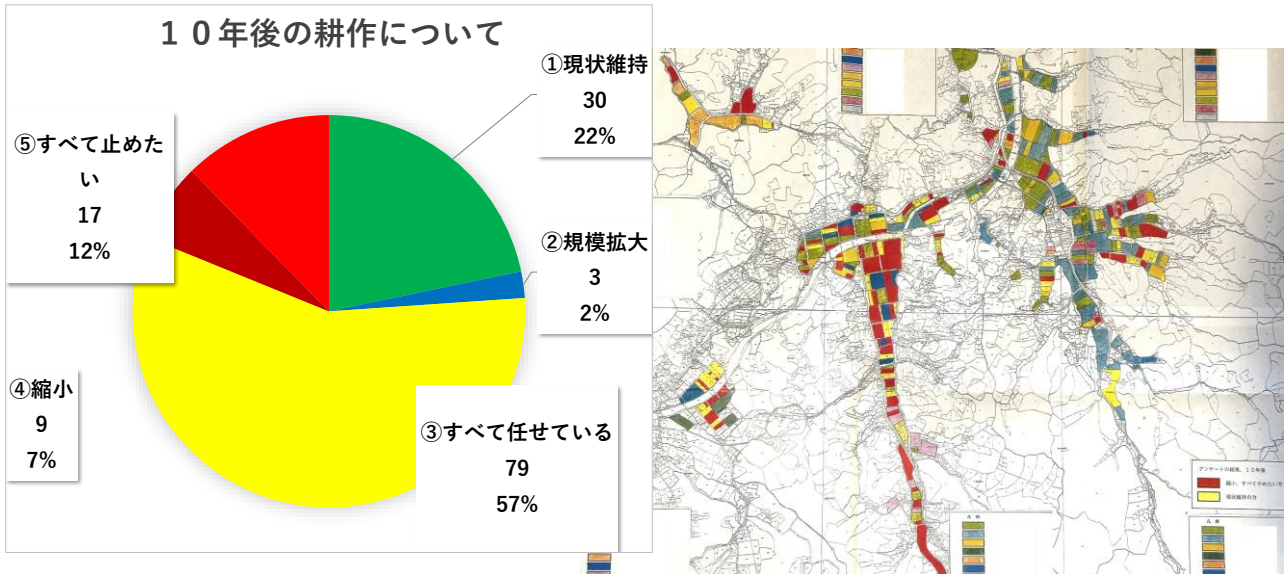
【村田町との打合せ】



【地域リーダーからの意見聴取】

3. プロジェクト課題の活動内容

地権者の意向把握(9月にアンケート調査:回答107人)



【12.22 担い手による話し合い】

2. 担い手候補栽培技術・経営支援



【個別担い手への支援】

4. プロジェクト課題の活動成果

◎定性的目標

地域内の合意形成に向けた継続的な検討組織が形成される

→話し合いを継続し目標地図の見直しを行うことで合意形成が図られた

次世代担い手の技術向上と経営の安定化が図られる

→栽培技術と経営管理能力向上の支援を継続して行う

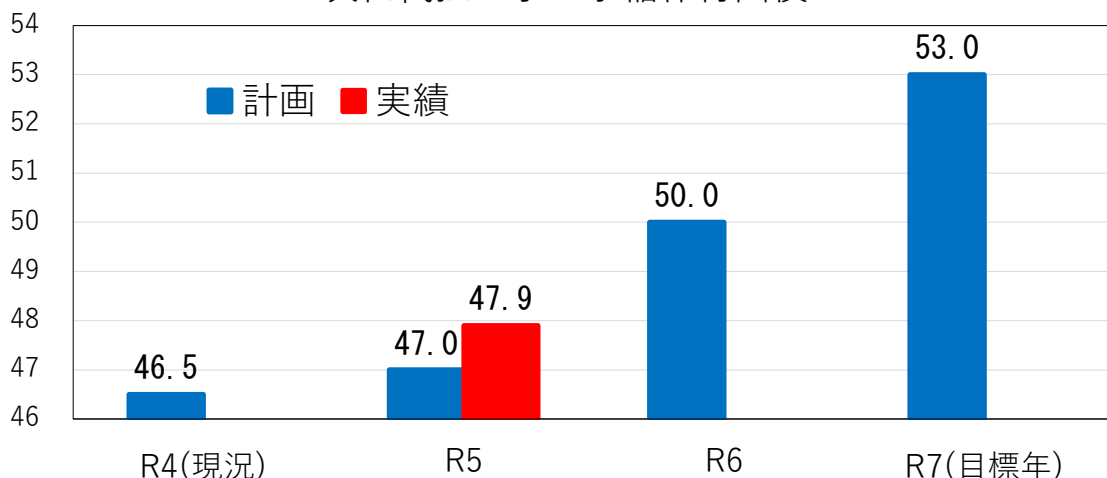


4. プロジェクト課題の活動成果

◎定量的数値目標

単位:ha

次世代担い手の水稻作付面積



5. 今後の活動

1. 地域計画の実践に向け話し合いの継続支援

- ①個別巡回による課題調整
- ②話し合いの場継続に向けた支援
- ③地域計画・目標地図の見直し、研修会開催支援

2. 担い手候補経営支援

- ①栽培技術向上支援
- ②中期経営計画作成支援